



# 失敗恐れず果敢に挑戦



京都府薬剤師国保組合常務理事

# 松井常孝氏

大正11年創業の松井薬局の三代目で代表取締役である。本店を含めJ.R.京都駅周辺に6店、沖縄に1店の計7店の薬局を展開する。調剤業務をはじめ漢



方や健康相談、一般用医薬品、化粧品、生活雑貨の販売もしている。「医薬分業で調剤薬局が増えました

が、健康のことはもちろん生活全般にわたるよろず相談に乗り、一生にわたり長いおつきあいをさせていただくのが本来の薬局、薬剤師の仕事だと思っています」と話す。

### 地域から必要とされる存在に

医療と介護の連携を目指した訪問看護、訪問介護

事業や居宅介護支援事業所、高齢者施設の管理運営なども手掛けている。「もうすぐ創業100年を迎えますが、次の100年も地域から必要とされる存在である

よう努力していきたい」。決意に力がこもる。

白衣姿が精悍だ。59歳だが髪の毛は黒く老眼鏡は不要だという。「加齢は防ぎようがありませんが、老化は自分の努力で防ぐことができます。何事にも挑戦する。それが僕のアンチエイジングです」

50歳の時、ジョギングを始めホノルルマラソンに出ることを決意した。3年後に夢をかなえ無事完走した。ところが、「一緒に出場したうちの嫁さんのほうがタイムがよかったです。ジョギングを始めたのは嫁さんのほうが早いです」

その悔しさを晴らそうと次に挑戦したのがトライアスロンだ。「嫁さん、泳げないんです。これなら負けない」。そう言って笑った。とはいえ、自転車ロードは経験がない。自転車を買って練習を重ねた。55歳の時、石垣島での大会でデビューし完走。翌年の2013年にはアイアンマンレース（鉄人競技）と呼ばれる五島列島の大会（水泳2キ、自転車124キ、長



距離走28キに出場し約10時間かけ完走した。「しんどいですよ。苦しいですよ。で

もゴールした時のあの達成感は何ともいえない」。トライアスロンの魅力を語る言葉が熱を帯びた。

### 次の目標は世界6大マラソン

つい最近、次の目標を見つけたという。観光旅行かねて世界6大マラソンに出場するというのだ。「東京マラソンはすでに完走しているので、65歳までにすべて制覇したい。もちろん嫁さんも『一緒に出る』と言うのに決まっています」。うらやましい限り。

J.R.京都駅近くに念願の薬局を来春オープンさせる。「これからの20年間は自分の体力はもちろん薬局の業態や地域などあらゆるものが大きく変わると思います。自分がどうありたいのか常に自問しながら、失敗を恐れず果敢に挑戦していきたい。毎日がドキドキ、ワクワクです。これからが勝負です」。満面の笑みに、ただただ脱帽だった。

